



●平成17年5月19日までの受付分(敬称略)
※この欄への掲載を希望しない人は、届け出のときに窓口へお申し出ください。

結婚 いっまでもお幸せに

夫氏名(地区)	妻氏名(地区)	届出日
入谷 洋司(市)	船曳 元子(市)	4月27日
谷池 直哉(津井)	古井まきば(松帆)	4月29日
宮本 芳幸(阿万)	出口 奏(淡路市)	5月1日
久留米晋吾(潮美台)	坂本 奈々(洲本市)	5月5日
狩野 聡男(潮美台)	浪花まりこ(神代)	5月5日
角所 学(榎列)	阿部 和泉(阿万)	5月5日
福島 寿一(阿万)	坂口久美子(五色町)	5月5日
泊 幹也(福良)	清水 亜紀(倭文)	5月5日
波戸 大樹(津井)	生垣 樹里(神代)	5月5日
阿部 隆志(阿万)	西川 沙織(五色町)	5月5日
前田 晋志(北阿万)	以頭 博子(北阿万)	5月6日
原 護(志知)	那須あゆみ(市)	5月7日
小坂 武史(松帆)	佐野 梢(松帆)	5月11日
沖 大史(大阪府)	澤内 千香(志知)	5月11日
沼田 泰宏(神代)	谷 真由美(阿那賀)	5月15日
加藤 正人(福良)	赤塚 智恵(愛知県)	5月17日
富本 紘之(松帆)	西山 依里(松帆)	5月18日

まちの動き

●人口	54,484人(前月比-26人)
(男)	26,306人(前月比-6人)
(女)	28,178人(前月比-20人)
●世帯数	17,980世帯(前月比+36世帯)

※平成17年5月1日現在

出生 はじめまして すこやかにかに

赤ちゃん	性別	保護者	地区	出生日
天野 更咲	女	真 吾	倭 文	4月6日
川口 心羽	女	一 国	福 良	4月8日
前田 葛花	女	将 司	潮美台	4月8日
坂東 佑月	女	知 彦	市	4月13日
伊達 暖空	男	康 行	市	4月13日
武田 遥奈	女	浩 明	八 木	4月14日
上田 善生	男	直 樹	神 代	4月16日
竹谷 結羽	女	英 晃	阿那賀	4月17日
坂本 由奈	女	匠 司	北阿万	4月18日
村上 太一	男	輝	阿 万	4月19日
平山 ゆき	女	毅	榎 列	4月19日
伊木 愛結	女	秀 樹	松 帆	4月19日
濱本 瑠緯	男	祐 二	灘	4月20日
谷川 ころ	女	公 浩	広 田	4月23日
山崎 一正	男	博 満	阿那賀	4月26日
廣内 麻央	女	友 和	榎 列	4月26日
山口 翔暉	男	元 康	広 田	4月27日
平野 ま衣	女	友 也	八 木	4月30日
山本 彩乃	女	哲 夫	大阪府	5月1日
山崎 愛美	女	敏 弘	榎 列	5月3日
立浪 皓斗	男	浩 司	賀 集	5月4日
不動 陽翔	男	隆 永	広 田	5月5日
富岡 寿美	女	敏 晃	倭 文	5月7日
川上 哲人	男	耕 平	福 良	5月8日
園生 めい	女	成 人	阿 万	5月11日
白瀬 みゆ	女	暁	賀 集	5月16日



子育て広場

【開設時間】午前9時～午後1時
■南あわじ市子育て学習センター
みどり(☎44-3008) 開設日:月・火・水・金
せいだん(☎37-3028) 開設日:月・火・木・金
みはら(☎42-7703) 開設日:火・水・木・金
なんだん(☎50-3048) 開設日:月・火・水・金

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

梅雨の季節となりました。洗濯物は乾かない、トイレトレーニングをしても思うように進まない、心の中もじめじめしてきませんか?
基本的な生活習慣(食事・排泄・着脱・清潔・睡眠)は、育児書の知識をそのまま我が子に置き換えてみても思うように進まないことが多いようです。



▲トライやるの中学生と一緒にミニ運動会をして遊びました(子育て学習センターみはら)

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

子育て学習センター(南あわじ市子育て学習センターみはら) 沼田陽子

個人の子より「関係」の問題

子どもの悲惨な事件が起きるたびに「心の教育」「いのちの教育」の必要と大切さが叫ばれています。「魂の教育」の必要性を主張する大人もいます。どれも重要なことでは否定できませんが、言葉だけの精神論に終わってしまうことが多いようです。

子どもたちが抱えるいろいろな問題や悩み、例えば非行問題やいじめ、不登校などの問題に接するとき、子どもが日ごろの生活で困難を解消する「関係」を持ち得ていないことに問題があるのだと気づきます。そして、個人の「心」ではなく「関係」「コミュニケーション」の問題なのだとして強く思うのです。

「こころ」というのは、もとは「こころ」であったと、ある高僧から教えられたことがあります。人間の心はこころ変わるものだということでしょう。確かに、「関係」によって人の心は明るくなったり暗くなったり、うれしくなったり、悲しくなったりします。また、むかつく、いらつく、きれるなどの心の問題

大人と子どもがつながる 校区社会に

特効薬はありませんが個人の心ではなく、大切なのは子どもたちの人間関係、コミュニケーションを育み豊かにすることです。

子どもたちは、他者とのコミュニケーション能力を培う場がなくなっています。「居場所のなさ感」のまま成長したら、その子の行き着く先は目に見えているように思うのです。悪質な事件を起こした人物がそれを教えています。

子どもが育つには村中の大人が必要で、大勢のいろいろな大人と触れ合う学校や校区社会であれば、だれかがその子の良い点をすくいあげ、なんらかで認め励ます機会が増えます。それによって子

「関係」「コミュニケーション」の問題から起きています。「よい子」が「きれる」背景も「関係」にあるのです。現実問題の解決が心の問題の解消にすり替えられて終わってしまったのは、病巣を隠し問題の根本的解決を誤らせることになり得ます。

大人と子どもがつながる 校区社会に

特効薬はありませんが個人の心ではなく、大切なのは子どもたちの人間関係、コミュニケーションを育み豊かにすることです。

子どもたちは、他者とのコミュニケーション能力を培う場がなくなっています。「居場所のなさ感」のまま成長したら、その子の行き着く先は目に見えているように思うのです。悪質な事件を起こした人物がそれを教えています。

子どもが育つには村中の大人が必要で、大勢のいろいろな大人と触れ合う学校や校区社会であれば、だれかがその子の良い点をすくいあげ、なんらかで認め励ます機会が増えます。それによって子